

おやごころ

<http://www.yamaguchipta.jp/>



発行年月日:令和4年2月22日 発行:山口県PTA連合会広報委員会



令和3年4月3日(土)
広報紙コンクール
(1次審査会場)



令和3年6月5日(土)
山口県PTA連合会定例総会
(会長引き継ぎ)



令和3年7月13日(火)
PTAと連携した家庭教育支援
第一回情報交換会



令和3年8月21日(土)
日本PTA全国大会北九州大会
(オンライン会場)



山口県PTA連合会の1年



令和3年12月12日(日)
子育て親育て研修会



令和3年12月4日(土)
山口県PTA研修大会周南大会



令和3年11月12日(金)
教育懇談会



令和3年11月1日(月)
広報紙おやごころ第120号発行



令和3年11月6日(土)
日本PTA中国ブロック研究大会
島根県益田大会(オンライン会場)

山口県教育委員会との教育懇談会

令和3年11月12日(金)カリエンテ山口にて、山口県PTA連合会代表委員と山口県教育委員会の職員合わせて約50名が参加し、教育懇談会を開催しました。「全ての子どもが幸せな未来を生きるために～変わりゆく時代の変化に、PTAとして今できること～」をテーマに、前半部分では山口県教育委員会からの「学校における新型コロナウイルス感染症への対応」「特別な配慮をする子どもへの理解・支援」等、教育行政最新の情報提供を、後半部分では4つのグループに分かれて、テーマに沿って熟議を行ないました。どのグループも白熱した熟議となり、濃密な時間を過ごすことができ、各市町のPTA活動へ持ち帰り反映されていくことだと思います。人ととのつながりが希薄となってきているコロナ禍の現代社会において、お互い顔を見てしっかり話すことの大切さをあらためて実感する貴重な懇談会となりました。



子育て親育て研修会2021

令和3年12月12日(日)山口県教育会館にて、県内小中学校の保護者・教職員を対象に『子育て親育て研修会』が開催されました。今年度はオンライン配信とのハイブリット形式で、現地20名・オンライン50名が参加しました。講師の防府海北園園長 岩城淳先生から「子どもに伝わる関わり方の工夫～上手なほめ方、叱り方～」について講演いただきました。



『躾(しつけ)』とは?『叱る』とは?『ほめる』とは?

刻々と変化する子育て環境の中で、今一度家族の絆を見つめなおし、真っ直ぐに子どもと向き合うことの大切さを教えていただきました。

PTAと連携した家庭教育支援

山口県PTA連合会では、令和元年度から中学校区のPTAが主体となって地域の団体等と連携・協働しながら「保護者同士の縦と横のつながりをつくり、就学前から学齢期を通じた継続的な家庭教育支援の推進体制を構築すること」を目的とした『PTAと連携した家庭教育支援』の取組を推進しています。今年度の五つのモデル校区の活動の一部を紹介します。



室積中学校区～室小オリンピック～

室積小中学校PTAの家庭教育支援活動のコンセプトは、直接子どもと触れ合いながら接し方を学ぶ「実践的家庭教育支援」です。今回は保護者のお手伝いのもと、9種類のミニゲームを楽しむ「室小オリンピック」を開催しました。低学年の保護者は高学年の子どもと接し、その子どもの姿を見ることで、将来の我が子を想像できる有意義な学びの場となりました。参加保護者には、県PTA連合会子育て親育て研修会の内容を抜粋した「上手なほめ方・叱り方」のレクチャーも行われました。



下松中学校区～コミスクにおける家庭教育支援の在り方～

①校区内3小中学校の全教職員、PTA代表、学校運営協議会委員約120名が3つの「下松っ子像」実現に向けて、9年間の発達段階に応じた「育みたい子どもの姿」の具体例について熟議を行いました。

②不登校等で困り感のある家庭に対し、気軽に相談できる場として「親Café」を定期的に開催しました。



華陽中学校区～子育て学習会～

校区内新田小学校にて、防府市家庭教育支援チームとコラボした新入学児童保護者対象『子育て学習会』が開催されました。前半は「登校時に必要な持ち物や服装について」「入学までに押さえておきたいこと」等を話し合い、後半はフリートークで盛り上りました。コロナ禍の感染予防対策で4~5人の少人数グループで行われたことでとても話しやすい雰囲気となり、たくさんの意見が飛び交う活気ある学習会になりました。



玄洋中学校区～保護者座談会「おしゃべり広場」・「子育てサロン」～

玄洋中学校区は、保護者同士の縦と横のつながりを大切に15年の育ちを地域全体で支える継続的な組織づくりに取り組んでいます。活動の一つとして、入学前の保護者が先輩保護者に気軽に相談ができる「保護者座談会」を開催しました。保護者同士にしかわからない情報も多く、入学前に準備する物や部活動のことなど具体的な話で大変盛り上がり、保護者同士の交流・出会いの場となりました。この活動は各小・中学校でも開催され、春から新しい生活を迎える入学前の保護者の安心感へつながる活動になっています。



日置中学校区～子育て交流会～

就学時健診の日程に合わせ、入学予定児童の保護者と「家庭教育支援チームふあみ」による子育て交流会が開催されました。支援チームの方から、小学校入学に向けた『規則正しい生活習慣について』の講義がありました。また、『成長を邪魔しない正しい靴の履き方』のお話もあり、皆熱心に聞かれていました。

令和3年度 いじめ防止 標語コンクール



「こんな人、いたらないいな」に自分がなる

小学校低学年の部：下関市立豊北小学校3年 阿部 淳之介 さん



いじめって「見る」「する」「される」どれもいや

小学校高学年の部：美祢市立秋吉小学校5年 稲田 翔馬 さん



分かってる？「いじめ」と同じ「無関心」

中学校の部：岩国市立平田中学校2年 中村 輝 さん

令和3年度いじめ防止標語コンクールに、2,078件もの応募をいただき、ありがとうございました。

審査の結果を経て、昨年12月には各賞を受賞された方に受賞報告しました。

受賞された作品は、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。



第51回日本PTA中国ブロック研究大会 島根県益田大会

令和3年11月6日(土)、島根県益田市にて第51回日本PTA中国ブロック研究大会が「元気な家庭!元気な学校!元気な地域!～つろうて子育て 清流の若鮎のごとく～」のスローガンのもと開催されました。昨年度の岡山大会はコロナ禍により残念ながら中止となりましたが、引き続き困難な中、今年度は島根県芸術文化センター「グラントワ」から会場とオンライン配信のハイブリッド形式の開催となりました。

山口県PTA連合会では、会長以下4名が現地参加し、その他の会員は山口県教育会館でのライブビューイングに30名、個別オンライン視聴に200名以上の方が参加しました。

記念講演では株式会社てっぺん取締役会長の大嶋啓介先生が「限界突破し可能性を最大限に引き出す方法」について自身が学んだメンタルトレーニングの内容や動画を交えながら分かり易くお話しされました。子どもたちの可能性を引き出し、また自分自身の可能性も拓げるために必要なことが学べる非常に興味深い内容でした。

また、今回、中国ブロック協議会の構成員の役を果たされた前山口県PTA連合会会長の川崎裕美さんが感謝状を受賞されました。



山口県PTA連合会 会員のための保障制度

一度の加入で中学校卒業まで自動更新

小学生・中学生総合保障制度

こども総合保険・自転車総合保険



お子様のケガや病気の他、個人賠償責任や学校へ携行する持ち物など、さまざまな補償で備えます。

個人賠償責任補償

ケガの医療費実費補償(傷害医療費用)

ケガの補償(傷害補償)

特定感染症補償
(新型コロナウィルス感染症に対応)

熱中症補償

細菌性食中毒補償

学校管理下動産補償

育英費用補償

病気死亡見舞金

病気補償

地震・噴火・津波補償



*実際に補償される内容は、ご加入いただくプランによって異なります。
※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に各学校を通じてPTA会員全員に配付されます。詳しくは、配布されたパンフレットでご確認いただくか、取扱代理店・扱者または制度引受保険会社にお問い合わせください。

2022年1月現在の内容です。

各PTAが団体で加入

山口県PTA連合会安全互助会

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

〈PTA団体傷害保険〉

PTA行事の参加者^{※1}のケガの補償

※1 参加者とは

- ①PTA会員(保護者・教職員)やその学校に通学する児童・生徒
- ②PTA会員の同居の親族
- ③事前にPTAより認められPTA活動に参加する方

〈PTA賠償責任保険〉

PTA活動の遂行に起因して発生した法律上の損害賠償金の補償^{※2}

- ※2 PTA活動中に對人、對物事故が発生し、PTA、PTA役員が法律上の損害賠償責任を負った場合

制度引受保険会社

AIG損害保険株式会社

中国・四国地域事業本部(広島支店)

〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082(535) 6010

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

取扱代理店・扱者

NOSCOインシュアランスサービス(株)

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 新八丁堀ビル5F
フリーダイヤル 0120-714-855

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日を除く)

山口県PTA研修大会周南大会

子どもを育てるのは、親ではなく社会 関係性の数だけ人は成長出来る

令和3年12月4日(土)、周南市文化会館大ホールにて、山口県PTA研修大会が行われました。

周南市PTA連合会の主管にて、「つなぐ」～せんねんまんねん 子どもたちの未来のために…～の大会主題のもと、会場とオンラインのハイブリッドにて開催されました。

講演会は、講師に作家の喜多川泰先生を迎えて、「次世代へのバトン」を演題に講演が行われました。

私たちは子どもたちにどのようなバトンを渡したいのか?私たちは親や前の世代から貰ったと思っているバトンは、本当に渡したかったものと同じ



だったのか?という投げかけからスタートしました。
人間は社会で創られて進化しているので、親が人間を創るのではなく、ほかの人との関係性の数によって成長していくもの、親の役割は「たくさんの人・場所・事に出会わせてあげること」だそうです。

山口県はコミュニティー・スクールの設置率日本一で、子どもたちが地域を含め多くの人と出会う環境が整っています。
この恵まれた環境の中で好奇心と向上心をもって未来のトピラを開いてくれると信じて、親は笑顔で子どもを見守り素敵なバトンをつないでいなければと思う講演でした。



南相馬市から感謝状をいただきました

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年目の節目に、昨年11月、福島県南相馬市より感謝状の贈呈を受けました。山口県PTA連合会と南相馬市とのご縁は、震災当時、山口県PTA連合会会長の富川芳人さんから、東日本大震災で被災し、原子力発電所の事故によって外で遊びことが出来なくなってしまった福島県の子どもたちのために何かできることはないと、提案があったことがはじまりでした。その提案を受け、南相馬市PTA連合会会長の西道典さん(みなみそうま子どものつばさ代表)を通して山口県PTA連合会が夏休み期間に実施している“ドリームチャレンジャー”に平成24年から平成26年までの3年間、福島県南相馬市在住の子どもたちを招待し、自然体験学習や山口県の子どもたちとの交流、山口県の歴史や文化に触れる機会の提供をはかりました。



参加者の声



★佐藤さゆりさん(南相馬市)

原発事故により外出さえ出来ず、不安な日々を送っていた時、山口県PTA連合会からお招きいただき、南相馬市の子どもたちに新鮮な空気と思い出を作る機会を与えていただきましたこと、たいへん感謝しております。子どもたちが大声を出し、満面の笑顔でキャンプファイヤーや海水浴を楽しむ姿を、今も忘れる事が出来ません。

ドリチャレに参加した子どもたちも成長し、自分の夢に向かって頑張っております。
これからも影ながら、応援していきたいです。

★息子 尋紀くん 沢登り、あれは忘れないね。大変だったし!!でも楽しかったなあ~。



みなみそうま
子どものつばさ

第47回 山口県PTA連合会

広報紙コンクール募集! あなたの学校のPTAも ぜひ、エントリーを!!

〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内

本年度も、県内小中学校のPTA広報紙の充実・振興を図るために、「広報紙コンクール」を実施いたします。

応募資格 山口県PTA連合会に加入している小中学校PTA

応募対象 令和3年度に発行された広報紙(全号一緒にご応募ください。)

提出方法 山口県PTA連合会事務局に直接ご持参もしくは郵送でお願いします。

提出期限 令和4年3月31日(木)必着

*応募作品は返却いたしません。

